

玉川上水・野の花だより No. 2 2

ユウスゲ（萱草・ワスレグサ）

中央大学研究開発機構・機構教授 東京大学名誉教授

石川 幹子

2026 年 6 月 23 日

大山緑道にユウスゲが咲きました。萱草（ワスレグサ）ともいいますが、ノカンゾウとは異なり、夏の夕暮れに開花し、翌日の午前中にはしぼみます。細長い、少し首を傾げたような茎が伸び、先端に山吹色の端正な花を咲かせます。花弁は6枚で、清涼感のある花です。

高原のおもかげを彷彿とさせるような花で、多くの人々に愛されてきました。詩人で建築家であった立原道造は昭和12年に『萱草に寄す』を著わしています。

のちのおもひに

夢はいつもかへつて行つた 山の麓のさびしい村に
水引草に風が立ち
草ひばりのうたひやまない
しづまりかへつた午さがりの林道を

東京でユウスゲの咲くお庭は、訪れることはできませんが、吹上御苑のお庭です。宮内庁協力により出版されている『御所のお庭』（扶桑社）には、軽井沢の面影を偲ばせるユウスゲが、風に揺れています。

ひとところ 狭霧流るる静けさに 夕すげは 梅雨の季（とき）を咲きつぐ

引用：美智子（2025年）『歌集 ゆふすげ』岩波書店



ユウスゲ 2026 年 6 月 22 日 17 時撮影（於：大山緑道）

立原道造 『萱草に寄す』1937 年 風信子叢書刊行所：国立国会図書館書誌データ